

環境分野における国際協力促進事業

1 背景

平成30年度予算要求額 : 4,020千円

ハロン湾は現在観光拠点としての大規模開発が進み、観光客が激増している。加えて湾背後にあるベトナム最大の露天掘り炭鉱から石炭塵が流れ込むこと等、環境悪化による世界自然遺産登録の取り消しが懸念されている。本質的に湾の環境保全を行うためには、下水処理場の整備や炭鉱跡地への植林等を行うとともに、陸域も含めたハロン湾地域の環境問題を俯瞰的に理解し管理できる能力を持つ現地の人材育成が必須となっている。

2 事業内容

「JICA草の根技術協力事業」としてベトナム・ハロン湾の環境改善プロジェクトを展開してきた大阪府立大学と、大阪府立大学とのつながりが深く大阪湾の環境改善に取り組んでいる一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア(CIFER・コア)を加えた、堺市、大阪府立大学、CIFER・コアによる体制のもと、現地職員等の能力構築支援、クアンニン省関係者との専門知識や経験の交換・共有、現地への技術協力の可能性を調査する国際協力を実施する。



ベトナム・ハロン湾

●本邦研修

クアンニン省から研修生を受け入れて、大阪湾の環境修復実証実験現場や大阪湾周辺の環境関連施設のフィールドワークと座学をセットにした研修を実施する。

●海外研修

大阪府立大学が行っている「国際環境活動演習」と連携し、市内企業を中心に希望者を募り、クアンニン省における様々な環境問題に関連する現場の視察を行うとともに、クアンニン省関係者との専門知識や経験の交換・共有、現地への技術協力の可能性を調査する。